

授業科目	教育原理				単位	2		
履 修	選択	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング			
開講年次	1年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP2-1 DP3-1 DP4-3			
担当教員	新谷 恭明							
授業概要	今日、教育をめくりさまざまな議論や主張が展開されている。このような状況のなかで、教育とはなにか、教育学を学ぶとはどういうことか、ということ正面から考えることは重要である。教育の理念や目的、思想や歴史などについての基礎的、基本的な学習を通して、種々の事象や問題の背景や意味をとらえ、現代における教育の意義や機能、役割などについての理解を深めることを目的とする。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の理念や思想、原理などについて基本的な事項を説明することができる。 2. 学校教育の歴史や機能について基本的な事項を説明することができる。 3. 現代教育の課題や改革動向について説明することができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	100	0	0	0	10	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	100						100	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
教育の原理的理解を深めるとともに、現実の諸問題の考察を応用的に展開することができる。				教育の基礎的知識を身につけるとともに、現実の諸問題について説明することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	
1	テーマ:人間について考える 自然と人間について考える。			講義	復習:該当部分の復習		90	

2	テーマ:人間について考えるその2 人間と文化について考える	講義	復習:該当部分の復習	90
3	テーマ:人間について考えるその3 人間と教育について考える	講義	復習:該当部分の復習	90
4	テーマ:子どもとおとな 子どもの世界について考える	講義	復習:該当部分の復習	90
5	テーマ:子どもとおとな その2 子どもの詩を読み解く	講義	復習:該当部分の復習	90
6	テーマ:女と男 性と人間形成について考える。	講義	復習:該当部分の復習	90
7	テーマ:家庭と人間形成(1) 近代家族の成立	講義	復習:該当部分の復習	90
8	テーマ:家族と人間形成(2) 近代家族の発展と現代家族の課題	講義	復習:該当部分の復習	90
9	テーマ:読み書きの力 識字という観点から学びを考える。	講義	復習:該当部分の復習	90
10	テーマ:学びの理論	講義	復習:該当部分の復習	90
11	テーマ:学校について考える(1) 近代学校教育の成立	講義	復習:該当部分の復習	90
12	テーマ:学校について考える(2) 近代学校教育の発展	講義	復習:該当部分の復習	90
13	テーマ:学校について考える(3) 戦後教育の理念と課題	講義	復習:該当部分の復習	90
14	テーマ:学校について考える(4) 現代教育の課題	講義	復習:該当部分の復習	90
15	テーマ:学修のまとめと確認 授業の重点項目について確認し、学びの成果を確認する	演習	授業全体の要点の確認と復習	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	教職課程の入門科目であるため、目的意識をもち主体的に参加することが重要です。			
テキスト	テキストは特に用いない。プリント配布予定。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	新谷恭明・土戸敏彦『人間形成の基礎と展開』コレール社			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	予習、復習をおこない、授業内容を確実に身につけてください。また、学校教育に関わる新聞、雑誌などの記事を読んだり、TVの教育関連番組を視聴し、教育の動向について関心をもつことが大事です。			
達成度評価に関するコメント	試験、提出物の内容等については、授業の中で適宜指示する。			